

館「シライフ名古屋」をパーク隣接地にオープンし、滞在型の「レゴランド・ジャパン・リゾート」へと発展した。そして今年7月には、IDA Y パスポートの料金体系の見直しを実施。ゴールデンウィークや夏休み、年末年始などのピークシーズンとそれ以外のオフピークで価格を分け、子ども料金もピーク日でも値下げに踏み切り、巻き返しを図る。

また、昨年末に閉鎖された「スペースワールド」(北九州市八幡東区、敷地面積約27万㎡)では、今年2月、イオンモール(株)が跡地の開発事業者に決定した。地域経済の活性化につながる新たな地域拠点として、ショッピング機能のみならず、「エンターテインメント」「カルチャー」「食」を融合した施設を計画していくという。今年4月のオープンを目指す。同社は、21年4月、新フオーマツの地域創生型商業施設の第一号「THE OUTLET SHIR OSHIMA」(広島市佐伯区)をオープンした。アウトレットモールを核に、屋内アイスクリームやボウリング場、体験型スポーツのほか、地場産品や地元食が楽しめる一大レストランゾーンなどで構成され、地元商圏に加え観光客の集客にも力を注いでいる。

遊園地は、前年度プラスが4施設、マ

イナスが6施設であった。増加率トップの「ツイリンクもてぎ」(前年度比12.6%増)が二桁増を記録し、「日本モンキーパーク」(同2.6%増)が続いた。16年度の年間入場者数が200万人に迫っていた「よみうりランド」は、10年ぶりに前年度を下回った。

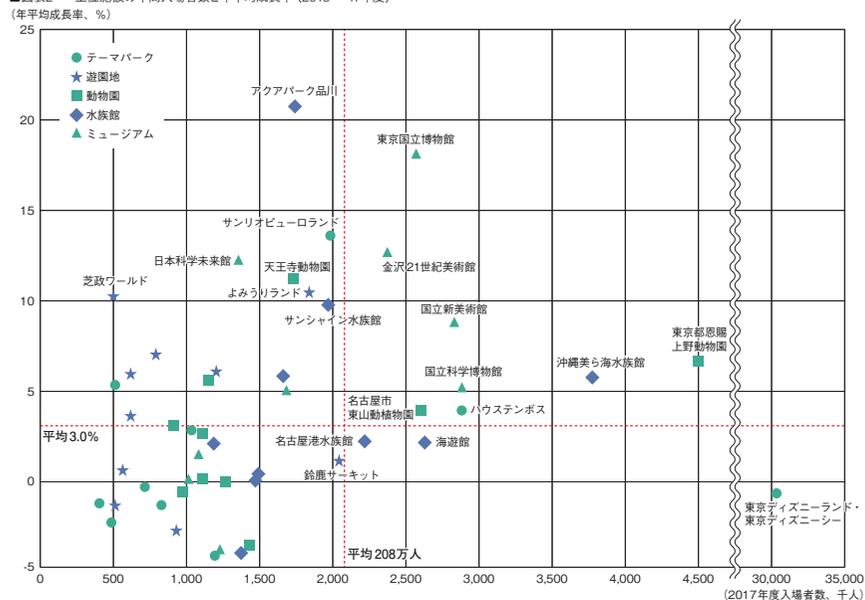
動物園は、前年度プラスが8施設に対し、2施設がマイナスであったが、「旭川市旭山動物園」は0.1%減で前年並みを維持。「京都市動物園」は15年度にリニューアル効果により大幅アップしていたが、2年続けて減少となった。

水族館は、前年度プラスが6施設、マイナスが4施設であった。サンシャイン水族館」は17年7月の屋外エリアのオープン効果で前年度より57.6%ふえ、16年度の9位から4位へとランクアップした。

今年6月には、新潟県上越市に公設民営方式で「上越市水族博物館」がたり(運営: 横濱八景島)がオープンした。約60基の水槽と施設内飼育数が世界最多となるマゼランペンギンの展示などを特徴とし、初年度の入場者数は60万人を目標としている(20年間の平均では約37万人に設定)。

ミュージアムは、前年度プラス、マイナスとも5施設ずつであった。増加

■図表2—上位施設の年間入場者数と年平均成長率(2013~17年度)



業界動向

5業種トップ10は全体で3.6%増 設備投資も活発に

編集部

動物園、ミュージアム、水族館が健闘 遊園地は前年度割れ

全国の主要なレジャー・集客施設を対象にした「2017年度集客実態調査」の結果を、業種別に年間入場者数ランキングとして30頁以降に示した『レジャーランド&レックパーク総覧2019』(総合エニコム刊、18年10月末発行予定)のデータ引用。

それによると、テーマパーク、遊園地、動物園、水族館、ミュージアムの主要有料施設トップ10の年間入場者数は、全体で前年度に比べ3.6%増加。前年度の実績を上回った施設は27施設であった。16年度調査では、シルバークウイクやうるう年の反動などで上位施設の約7割が前年度を割り込み、5業種トップ10の総入場者数は前年度比0.2%増にとどまっていたが、それよりも伸長した。

業種別のトップ10総入場者数は、動物園が最も伸びて前年度比7.8%増、次いで水族館6.8%増、ミュージアム6.5%増となっており、テーマパークはほぼ横ばいの0.2%増、遊園地のみ前年度を0.5%下回った。

個別施設の動向は業種別ランキングに譲るが、図表1には前年度との増減率の構成を業種別にまとめた。

テーマパークは、前年度プラスが4施設、マイナスが6施設であった。ただ、増加施設は「サンリオピューロランド」が9.6%増となったほかは、微増にとどまった。

16年度ランキング2位の「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」は入場者数が非公開となったが、「TEA/FECOM 2017 Theme Index and Museum Index」(Themed Entertainment Association)によると、17年の入場者数は149.3万5000人(前年比3.0%増)と報告されている。同年12月19日には、(株)ユニー・エス・ジェイから「訪日外国人の年間入場者数200万人突破」と発表されており、前記の入場者数より推計するとインバウンド比率はおおよそ13%となる。「東京ディズニーランド」(TDL)と「東京ディズニーシー」(TDS)の合計入場者数3010万人のインバウンド比率が約10%なので、まだ伸び代はありそうだ。17年4月には、ミニオンのキャラクターエリア「ミニオン・パーク」がオープンし、話題となった。

一方、17年4月にオープンした「レゴランド・ジャパン」は年間集客目標を200万人としていたが、一部で苦戦が伝えられている。今年4月には「レゴランド・ジャパン・ホテル」と水族

■図表1—業種別・年間入場者数の増減率の構成

